

妖しく おかしい 夏のラマダホテル大阪落語会

怪談落語開催

ラマダホテル大阪（大阪市北区・総支配人 ダレン・モリッシュ）では、2010年7月2日（金）2F大淀の間にて、夏の風物詩である“怪談”を題材にした「怪談落語の会」を開催いたします。

「怪談落語の会」では、怪談特有の趣向を凝らした会場で、妖しく、おかしい怪談落語の世界を驚きの仕掛けとともにお届けします。

怪談落語の会 概要

【開催日】2010年7月2日（金）

【時間】開場／18:00 開演／18:30

【料金】10,000円（税サ込）※怪談落語特別ディナー付き

【場所】2F 大淀の間

【出演】露の 団四郎、桂 春蝶、笑福亭 たま

【お申し込み】ラマダホテル大阪 宴会予約イベント係（10:00～18:00）TEL:06-6375-4998（直通）
チケットぴあ ※5月10日（月）からチケット販売開始

【出演者紹介】

■露の 団四郎（つゆの だんしろう）

怪談噺では当代一流と言われた師匠・二世露の五郎兵衛譲りの怪談噺を継承し、その迫真の熱演ぶりが子供からお年寄りまで幅広い世代に喜ばれている。

■桂 春蝶（かつら しゅんちょう）

実父である二代目桂春蝶の死をきっかけに落語家になることを決意し、1994年三代目桂春團治に入門。若手落語家と新世代の落語界を牽引するメンバーの一人として、高座のみならず、活動の場所を広げている。

■笑福亭 たま（しょうふくてい たま）

実家がビリヤード店であることから「たま」を名乗る。師匠の福笑の特技である、上下（かみしも）を振らないスタイルを継承しつつ、「ショート落語」などの実験的な試みを進める。



迫真の熱演ぶりが人気の露の団四郎。あっと驚く仕掛けとともに、怖いながらもなぜか笑ってしまう怪談落語をお楽しみください。※写真はイメージです

—このリリースに関するお問い合わせ先—

ラマダホテル大阪 セールス&マーケティング部 営業企画 広報
森 真紀／山田 眞規子

— 本件に関するお問い合わせは —

ラマダホテル大阪

セールス&マーケティング部 営業企画
tel 06-6372-1656 fax 06-6359-0955

3-16-19 Toyosaki, Kita-ku, Osaka, 531-0072, Japan
〒531-0072 大阪市北区豊崎3丁目16番19号
tel 06-6372-8181 fax 06-6372-8101
www.ramada-osaka.com